

平成25年6月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成24年11月20日

会社名 株式会社 武井工業所
 コード番号 5286

上場取引所等 フェニックス銘柄
 本社所在地都道府県 茨城県

(URL <http://www.takei21.co.jp>)

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 厚
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大内 哲朗 TEL (0299) 24-5216
 取締役会決議日 平成24年11月20日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	1,024	(45.6)	10	(-)	△ 3	(-)
24年6月期第1四半期	703	(△ 12.8)	△ 72	(-)	△ 88	(-)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
25年6月期第1四半期	△ 6	(-)	△ 1 91	- -	△ 0.7	△ 0.1	△ 0.3
24年6月期第1四半期	△ 88	(-)	△ 25 12	- -	△ 10.0	△ 2.1	△ 12.6

- (注) ① 持分法投資損益 25年6月期第1四半期 - 百万円 24年6月期第1四半期 - 百万円
 ② 有価証券の評価損益 0 百万円 デリバティブ取引の評価損益 - 百万円
 ③ 期中平均株式数 25年6月期第1四半期 3,536,656 株 24年6月期第1四半期 3,536,656 株
 ④ 会計処理の方法の変更 有 ・ (無)
 ⑤ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
25年6月期第1四半期	4,356		979		22.5		276 88	
24年6月期第1四半期	4,143		847		20.5		239 66	

- (注) ① 期末発行済株式数 25年6月期第1四半期 3,542,000 株 24年6月期第1四半期 3,542,000 株
 ② 期末自己株式数 25年6月期第1四半期 5,344 株 24年6月期第1四半期 5,344 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
25年6月期第1四半期	△ 31		△ 26		81		186	
24年6月期第1四半期	△ 34		△ 5		117		205	

2. 平成25年6月期の業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中 間	期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中 間 期	2,210	34	33	0 00	- -	0 00
通 期	4,500	137	134	- -	2 50	2 50

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 37円 89銭

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改定に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年6月期第1四半期 | 3,542,000 株 | 24年6月期 | 3,542,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年6月期第1四半期 | 5,344 株 | 24年6月期 | 5,344 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) | 25年6月期第1四半期 | 3,536,656 株 | 24年6月期第1四半期 | 3,536,656 株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定期的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興関連予算が順次執行されたことによる公的需要の伸びなどにより、国内需要中心の緩やかな回復基調となりましたが、長引く円高や欧州債務危機を背景にした金融市場の動揺、韓国、中国といった周辺国との摩擦による経済活動への影響等、先行きに対する不透明感が急速に強まっております。

当社の属する建設業界におきましては、一部では震災復旧関連を中心に公共投資が増加し、消費税増税をにらんだ住宅投資や、民間設備投資も緩やかな増加基調が見られておりますが、全体としては、受注競争の激化や労務費の高騰など依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境のなか当社は、「フリードレーン（涵渠型側溝）」をはじめとする戦略製品の拡販や受託製品事業の拡大を図ってまいりました。さらに従来建設現場で施工されるコンクリート構造物のプレキャスト製品化を推進したことにより、今までお取引のない分野（海洋土木など）のニーズを新たにに取り込み実績化することができました。

その結果、売上高は10億2千4百万円（前年同期比45.6%増）、営業利益1千万円（前年同期は7千2百万円の営業損失）、経常損失3百万円（前年同期は8千8百万円の経常損失）、四半期純損失6百万円（前年同期は8千8百万円の四半期純損失）となりました。

なお、品種別の売上高は下記のとおりであります。

区分	品 目	前 第 1 四 半 期 累 計 期 間 (自 平 成 23 年 7 月 1 日 至 平 成 23 年 9 月 30 日)		当 第 1 四 半 期 累 計 期 間 (自 平 成 24 年 7 月 1 日 至 平 成 24 年 9 月 30 日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
製 品	道 路 用 製 品	130,001	18.6	169,543	16.6
	水 路 用 製 品	280,805	39.9	332,050	32.4
	擁 壁 ・ 土 止 め 用 製 品	78,119	11.1	90,144	8.8
	法 面 保 護 用 製 品	4,529	0.6	39,209	3.8
	そ の 他	12,961	1.8	41,279	4.0
	小 計	506,416	72.0	672,228	65.6
商 品	コンクリート二次製品	164,945	23.4	307,071	30.0
	そ の 他	32,138	4.6	45,123	4.4
	小 計	197,083	28.0	352,194	34.4
	合 計	703,500	100.0	1,024,423	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて9千2百万円増加し、43億5千6百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べて9千万円増加し18億9千6百万円となりました。これは主として「売掛金」が6千万円減少したものの、「現金及び預金」が2千3百万円及び「受取手形」が1億2千7百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて1百万円増加し、24億6千万円となりました。これは主として減価償却費の計上などにより「有形固定資産」が1千3百万円減少したものの、「長期性預金」が1千2百万円及び「保険積立金」が3百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べて1億4百万円増加し、33億7千7百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べて4千8百万円増加し22億6千1百万円となりました。これは主として「支払手形」が1千9百万円「短期借入金」が1千5百万円及び「未払消費税等」が1千2百万円減少したものの、「買掛金」が3千5百万円「1年内返済予定の長期借入金」が4千2百万円及び「賞与引当金」が2千8百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて5千6百万円増加し11億1千5百万円となりました。これは主として「長期借入金」が6千3百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べて1千1百万円減少し、9億7千9百万円となりました。これは主として第57期の配当原資として5百万円 四半期純損失として6百万円を計上したことにより、「利益剰余金」が減少したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローの減少3千1百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの減少2千6百万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの増加8千1百万円により、前事業年度末に比べて2千3百万円増加し、当第1四半期会計期間末残高は1億8千6百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における営業活動の結果減少した資金は、3千1百万円(前年同四半期は3千4百万円の減少)となりました。これは主として減価償却費が2千4百万円、賞与引当金の増加が2千8百万円あったものの、税引前四半期純損失を3百万円計上したことに加え、売上債権の増加が6千3百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における投資活動の結果減少した資金は、2千6百万円(前年同四半期は5百万円の減少)となりました。これは主として定期預金の払戻による収入が1億円あったものの、有形固定資産の取得による支出が1千万円、定期預金の預入による支出が1億1千2百万円及び保険積立金の積立による支出が3百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における財務活動の結果増加した資金は、8千1百万円(前年同四半期は1億1千7百万円の増加)となりました。これは短期借入金の減少が1千5百万円、長期借入金の返済による支出が9千3百万円あったものの、長期借入れによる収入が2億円あったこと等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績は、ほぼ計画どおり推移しており、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想した結果、平成24年8月10日付の「平成24年6月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ① 一般債権の貸倒見積高の算出方法に関しては、前事業年度末において使用した貸倒実績率によって算出しております。
- ② たな卸資産の評価方法につきましては、実地たな卸を行わず、前事業年度末の実地たな卸高を基礎とした帳簿たな卸によって算出しております。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	182,508	206,207
受取手形	342,940	470,563
売掛金	683,758	623,584
商品及び製品	500,198	507,122
原材料及び貯蔵品	85,385	85,293
前払費用	17,644	13,491
その他	5,164	2,006
貸倒引当金	△ 12,126	△ 12,078
流動資産合計	1,805,474	1,896,189
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	350,144	344,153
構築物(純額)	142,533	139,284
機械及び装置(純額)	104,797	102,233
車輛運搬具(純額)	289	289
工具、器具及び備品(純額)	81,496	84,516
建設仮勘定	—	1,406
土地	1,605,433	1,605,433
リース資産(純額)	73,713	67,514
有形固定資産合計	2,358,408	2,344,833
無形固定資産	4,572	4,572
投資その他の資産	95,565	110,753
固定資産合計	2,458,545	2,460,159
資産合計	4,264,020	4,356,348

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	141,182	121,624
買掛金	207,957	243,728
短期借入金	1,180,000	1,165,000
1年内返済予定の長期借入金	379,816	422,776
リース債務	26,238	25,692
未払金	201,858	202,049
未払法人税等	5,086	5,003
未払消費税等	29,878	16,978
預り金	16,149	9,519
賞与引当金	20,000	48,749
その他	4,914	—
流動負債合計	2,213,083	2,261,119
固定負債		
長期借入金	895,210	958,916
退職給付引当金	103,120	101,519
リース債務	53,090	47,127
繰延税金負債	431	490
資産除去債務	7,900	7,938
固定負債合計	1,059,752	1,115,991
負債合計	3,272,836	3,377,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金	389,632	389,632
利益剰余金	79,912	67,857
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	990,755	978,700
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	428	535
評価・換算差額等合計	428	535
純資産合計	991,184	979,236
負債純資産合計	4,264,020	4,356,348

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	703,500	1,024,423
売上原価	537,788	769,983
売上総利益	165,712	254,439
販売費及び一般管理費	237,947	243,923
営業利益又は営業損失(△)	△ 72,235	10,515
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	51	31
その他営業外収益	2,261	1,147
営業外収益合計	2,312	1,179
営業外費用		
支払利息割引料	16,259	14,993
その他営業外費用	2,234	—
営業外費用合計	18,493	14,993
経常損失(△)	△ 88,416	△ 3,297
特別損失		
投資有価証券評価損	—	527
特別損失合計	—	527
税引前四半期純損失(△)	△ 88,416	△ 3,825
法人税、住民税及び事業税	420	2,924
法人税等合計	420	2,924
四半期純損失(△)	△ 88,837	△ 6,750

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△ 88,416	△ 3,825
減価償却費	23,796	24,431
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,836	△ 77
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,994	28,749
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	△ 1,600
受取利息及び受取配当金	△ 51	△ 31
支払利息	16,259	14,993
投資有価証券評価損益(△は益)	1,202	527
売上債権の増減額(△は増加)	155,978	△ 63,002
割引手形の増減額(△は減少)	△ 70,450	△ 4,415
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 68,515	△ 6,832
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 4,370	16,212
その他資産・負債の増減額	△ 9,787	△ 19,518
小計	△ 9,518	△ 14,389
利息及び配当金の受取額	51	31
利息の支払額	△ 14,042	△ 15,947
災害損失の支払額	△ 9,194	—
法人税等の支払額	△ 1,676	△ 1,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,380	△ 31,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△ 119	△ 119
有形固定資産の取得による支出	△ 3,552	△ 10,779
定期預金の払戻による収入	16,000	100,000
定期預金の預入による支出	△ 15,000	△ 112,000
保険積立金の積立による支出	△ 3,111	△ 3,111
その他投資の増減額	△ 216	△ 159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,999	△ 26,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,000	△ 15,000
長期借入れによる収入	150,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△ 31,222	△ 93,334
リース債務の返済による支出	△ 6,771	△ 6,508
配当金の支払額	△ 2	△ 3,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	117,004	81,697
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76,624	23,698
現金及び現金同等物の期首残高	128,588	162,508
現金及び現金同等物の四半期末残高	205,212	186,207

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。